



## 原子力発電所では、万が一の重大事故に備えた訓練を繰り返し行っています

原子力発電所において、万が一の重大事故等が発生した場合に、あらゆる事象に速やかに対応するため、緊急時の体制や手順を整備し、さまざまな訓練を繰り返し行い、対応能力の維持・向上に努めています。



電源供給訓練  
(中容量発電機車の  
電源ケーブル接続)



電源供給訓練  
(可搬型電源の設置)



冷却水供給訓練  
(可搬型電動注入  
ポンプの設置)



放射性物質拡散抑制訓練  
(放水砲の設置)

### ■ 川内原子力発電所の緊急時の体制

勤務時間外や休日(夜間)でも、重大事故が発生した場合に速やかに対応するため、一班52名の対応体制を整備し、発電所やその周辺に常駐しています。

区 分	人 数	
緊急時対策本部要員	4名	52名
運 転 員	12名	
重大事故等対策要員	36名	

※玄海原子力発電所の重大事故等対策要員の体制についても、整備していきます。



この他にどのような取組みを行っているの？

詳しくは裏面へ

# 自治体が主催する原子力防災訓練に参加し、 原子力防災組織が有効に機能することの確認や 防災対策の習熟を図っています。

## 自治体主催の原子力防災訓練

### 玄海原子力発電所の 重大事故を想定した訓練



通報連絡訓練(緊急時対策所)



緊急時対応訓練(電源復旧訓練)



緊急時対応訓練(火災対応訓練)

### 川内原子力発電所の 重大事故を想定した訓練



通報連絡訓練(本店即応センター)



原子力災害医療訓練



住民避難支援訓練

原子力発電所の重大事故を想定した自治体主催の原子力防災訓練に、当社も事業者として参加しました。

〔2016年10月〕

佐賀県、長崎県、福岡県による訓練

(玄海原子力発電所)

〔2017年1月〕

鹿児島県による訓練(川内原子力発電所)

### 【当社訓練の概要】

- ・ 通報連絡訓練  
発電所及び本店に緊急時対策本部を設置、TV会議を用いた情報共有、通報連絡等の訓練
- ・ 発電所における緊急時対応訓練  
電源復旧、緊急時モニタリング、火災対応
- ・ 原子力災害医療訓練
- ・ 住民等の避難退域時検査訓練  
住民や車両等の避難退域時検査や除染訓練
- ・ 後方支援拠点の設置、運営訓練  
事故収束活動を発電所外から支援する後方支援拠点の設置、運営訓練
- ・ 当社福祉車両による住民避難支援訓練

# 万が一原子力災害が発生した場合、 住民の皆さまの避難等に対して最大限の支援 を行っていきます。

### 【原子力防災支援に係る主な取組み内容】

- ・ PAZ<sup>(※)</sup>圏内等の要支援者の避難手段として不足する福祉車両やバス及び運転手等の確保
- ・ 避難退域時検査・除染、緊急時モニタリングの要員及び資機材の支援
- ・ 放射線防護対策施設・避難所等への生活物資(保存食、寝具等)の備蓄支援
- ・ モニタリングポスト、オフサイトセンター、放射線防護対策施設への燃料補給支援

(※) 原子力災害に関し、予防的防護措置を準備する区域。発電所から概ね5kmの範囲



福祉車両(ストレッチャー仕様)



福祉車両(車椅子仕様)



避難退域時検査・除染



燃料補給支援(モニタリングポスト)